

書簡の中心点——神聖な分与のための神聖な三一

聖書：ローマ8:9, 11. I コリント12:4-6. II コリント13:14.
ガラテヤ4:4-6. エペソ2:18. II テサロニケ2:13-14. テトス3:4-6.
I ペテロ1:2. ユダ20-21節

I. 神聖な三一が、書簡の中心点です——ローマ8:9, 11. I コリント12:4-6.
II コリント13:14. ガラテヤ4:4-6. エペソ2:18. II テサロニケ2:13-14.
テトス3:4-6. ユダ20-21節：

A. 「わたしたちに与えられている聖霊を通して、神の愛がわたしたちの心の中に注がれているからです。わたしたちがまだ弱かったころ、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました」——ローマ5:5-6：

1. 子なるキリストがわたしたちのために死んでくださり、その霊がわたしたちに与えられています。この霊を通して、神の愛がわたしたちの心の中に注がれています——5-6節。
2. 今や、わたしたちに与えられている聖霊を通して、わたしたちという不敬虔な者のためにキリストが死んでくださったという根拠に基づいて、わたしたちは神の愛を享受します。

B. 「確かに神の霊があなたがたの中に住んでいるなら、あなたがたは肉の中にいるのではなく、霊の中にいるのです。もしだれでもキリストの霊を持っていないなら、その人はキリストのものではありません」——8:9：

1. ここで「神の霊」と「キリストの霊」が交互に用いられています。それが示しているのは、内住する命の霊（2節）が、三一の神全体の、すべてを含む、命を与える霊であるということです。
2. 神、その霊、キリスト、すなわち神格の三がすべて、この節の中で述べられています。しかしながら、わたしたちの中にいるのはただひとりの方、すなわち、三一の神の三一の霊です——ヨハネ4:24. II コリント3:17. ローマ8:11：
 - a. 「神の霊」が暗示しているのは、この霊が、永遠の過去から有った方、宇宙を創造した方、万物の起源である方の霊であるということです。
 - b. 「キリストの霊」が暗示しているのは、この霊が、肉体と成った方

であるキリストの具体化と実際であるということです。このキリストは、神のご計画を成就するのに必要なあらゆる事を達成しました——3節。

3. 父なる神、子なるキリスト、霊なる神、わたしたちの中に住んでおり、わたしたちの中にご自身のホームを造っています。わたしたちは、このすばらしい三一である居住者をわたしたちの中に持っています——11節。参照、エペソ3:16-17。

C. 「イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます」——ローマ8:11：

1. この節には、三一の神全体があります。すなわち、「イエスを死人の中から復活させた方」、「キリスト」、「あなたがたの中に住んでいる彼の霊」です。
2. この節にはまた、神聖な分与、すなわち、神がご自身を信者たちの中へと分与するために必要となる過程もあります：
 - a. この過程は、「イエス」（肉体と成ったことを強調している）、「キリスト」（十字架と復活を強調している）、「復活させた」（復活を強調している）という言葉の中に暗示されています。
 - b. 神聖な分与は、「あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます」という言葉によって示されています。

D. 「それは、わたしが異邦人へのキリスト・イエスの奉仕者となり、神の福音の労苦する祭司となるためであって、ささげ物である異邦人が聖霊の中で聖別されて、受け入れられるためです」——15:16：

1. パウロは言いましたが、彼は異邦人へのキリスト・イエス（御子）の奉仕者であり、祭司として三一の神の福音を供給し、ささげ物である異邦人が聖霊の中で聖別されて、受け入れられるようにしました。
2. パウロは、三一の神の福音の労苦する祭司であって、御子キリスト・イエスを異邦人に供給しました。最終的に、彼の働きの結果は、聖霊を通して、異邦人を聖別された実体として神にささげることでした。

II. 新約の中で神聖な三一に関して述べられているあらゆる事は、神聖な分与と関係があります——I ペテロ1:2. II テサロニケ2:13-14：

- A. 聖なる御言の中の神聖な三一の啓示は、単なる教理上の理解のためではなく、三一の神を彼の神聖な三一の中で、彼の選ばれ贖われた民の中へと分与して、彼らが命の中で経験し、享受し、成長するためです——II

コリント13:14。

B. エペソ人への手紙の極めて重要な中心点は、信者たちの中への神聖な三一の神聖な分与です：

1. 第1章が明らかにしているのは、どのようにして父なる神が、永遠の中で肢体たちを選び、あらかじめ定め、またどのようにして子なる神が、彼らを贖い、またどのようにして霊なる神が、担保として彼らに証印を押し、こうして彼ご自身を彼の信者たちの中へと分け与えて、召会を形成したかということです。この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です——3-14, 17-23節。
2. 第2章がわたしたちに示しているのは、神聖な三一の中で、すべての信者がユダヤ人もギリシャ人も、子なる神を通して、霊なる神の中で、父なる神へと近づくことができるということです——18節。
3. 第3章において使徒が祈っているのは、父なる神が霊なる神を通して信者たちを内なる人の中へと増強してくださること、キリスト（子なる神）が彼らの心の中にご自身のホームを造ること、そして彼らが満たされて、神の全豊満へと至ることです——16-19節。
4. 第4章が描写しているのは、手順を経た神、すなわち霊、主、父が、どのようにしてキリストのからだとミングリングされて、からだのすべての肢体に神聖な三一を経験させるかということです——4-6節。
5. 第5章が信者たちに勧めているのは、霊なる神の歌をもって主（子なる神）を賛美することと、わたしたちの主イエス・キリスト（子なる神）の御名の中で、父なる神に感謝をささげることです——19-20節。
6. 第6章がわたしたちに指示しているのは、主（子なる神）の中で力づけられ、父なる神のすべての武具を身に着け、その霊の剣を用いることによって、霊の戦いを戦うことです——10-11, 17節。

C. わたしたちは日常生活の中で神聖な分与を、正常に、徐々に、着実に、受け、経験し、享受する必要があります——ローマ8:11. II コリント 13:14 :

1. わたしたちは神聖な分与を経験すればするほど、ますます命において成長し、キリストのからだを建造します——エペソ3:16-19. 4:15-16。
2. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、特別な方法においてではなく、普通の方法においてわたしたちの中にいます——ローマ8:9, 11 :
 - a. わたしたちは普通の方法において、神聖な分与の中で生活し、神聖

- な分与の中にある普通の日々に満足することを学ぶ必要があります。
- b. わたしたちの運命は、神聖な分与の中で普通の生活をする事です。神聖な分与の中にある普通の日々に満足することは、一つの祝福です。

©2011 *Living Stream Ministry*